旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２１年４月１１日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌313「この世のつとめ」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美		一　同
教会学校		
讃　　美	讃美歌301「山辺に向かいて」	一　同
聖書朗読	エステル3:1-6	
奨　　励	エステル記の福音(第3回)	牧　師
主　　題	**「人の計略、神の計画」**	
讃　　美	讃美歌494「わが行く道」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**エステル記第４章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
４/11(日)聖日礼拝
/12(月)
/13(火)
/14(水)
/15(木)10:00聖研
/16(金)
/17(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

良書ハイライト

「アルタクセルクセス王の勅書」

（新共同訳：旧約聖書続編「エステル記補遺」第５章）

1:これがその勅書の写しである。「アルタクセルクセス大王は、インドからエチオピアに至る百二十七州の長官、およびその下にある地方長官に書を送る。2:予は多くの民族を支配し、全世界の覇権を握ったが、予の願いは権力におごり高ぶることなく、常に穏当で寛大な政治を行い、わが国民の生活を常に平穏無事に保ち、国家を整えて国境まで往来できるようにし、万民の望む平和を回復することにあった。3:どうすればこれを達成することができるのか、と行政顧問官たちに尋ねたところ、我々の中で思慮分別に優れ、心変わりすることなく常に誠実であり、確かに忠実な者として知られ、国家の中で王に次ぐ地位につけられているハマンが、4:予にこう指摘した。**世界中の諸民族の中に、敵意を抱く一つの民族が交じっており、この民族は自分の法律に従ってあらゆる民族に反抗し、終始王たちの命令をおろそかにし、我々が申し分なく進めてきた共同の国家統制を遂行できなくしていると。**5:予は、唯一この民族が常に万民に逆らい、その法律に従って奇異な生活を送り、我々の政治になじまず、最大の悪事を働き、そのため国家が安定していないことを認めざるをえない。6:従って、予は命ずる。我々の政治の責任者、我々の第二の父ハマンが書簡をもって指示する者を皆、女も子供も、この民族に敵する者のやいばにかけて徹底的に、情け容赦なく滅ぼさせるべきである。その日は、本年の第十二の月、アダルの月の十四日である。7:こうして、昔も今も悪意に満ちた者どもは、一日にして、いやおうなしに陰府に下らされ、今後我々の政治は完全に平穏で安定したものとなるであろう。」

「モルデカイの祈り」

（新共同訳：旧約聖書続編「エステル記補遺」第７章）

1:モルデカイは、主の御業をすべて思い起こして、主に祈った。2:「主よ、主よ、すべてを支配される王よ、万物はあなたの主権の下にあり、イスラエルの救いがあなたの御旨なら、だれもあなたに立ち向かうことはできません。3:あなたは天と地、それに、天の下すべての驚くべきものを造られました。4:あなたは万民の主、だれも主であるあなたに逆らうことはできません。5:あなたはすべてをご存じです。おごり高ぶるハマンの前に私がひれ伏さなかったのは、節度をわきまえなかったからでもなく、おごり高ぶっていたからでもなく、野心を抱いていたからでもないことを、主よ、あなたはご存じです。6:イスラエルの救いのためなら、彼の足の裏にさえ甘んじて接吻しましょう。7:私がひれ伏さなかったのは、神の栄光の上に人の栄光を置かないためでした。私は、主であるあなたのほか何人にもひれ伏すことをしません。それは、おごり高ぶりからではありません。8:主なる神よ、王よ、アブラハムの神よ、今こそ、あなたの民を顧みて下さい。人々は我々を滅ぼそうと付けねらい、初めからのあなたの遺産であった民を消し去ろうと望んでいるからです。9:御自分のためにエジプトの地から贖われたあなたのものである民を軽んじないで下さい。10:私の祈りを聞き入れ、あなたの取り分である民を憐れみ、民の悲しみを喜びに変えて下さい。主よ、我々が生き永らえ、御名を賛美できますように。あなたを讃える者の口をどうか滅ぼさないで下さい。」